2026年11月12日

各　　位

会　社　名　ＧＭＯメディア株式会社
代　表　者　代表取締役社長　　森　輝幸
（コード番号6180　東証グロース）
問い合わせ先　常　務　取　締　役　　石橋正剛
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　03-5456-2626

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、本年2月10日付で発表した2026年12月期通期業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,500	百万円 950	百万円 935	百万円 580	円　銭 320.93
今回修正予想(B)	6,550	550	555	375	209.75
増減額(B)-(A)	△950	△400	△380	△205	△111.18
増減率(%)	△12.6	△42.1	△40.6	△35.3	△34.6
前期実績（2025年12月期）	7,115	901	896	646	360.54

２．修正の理由

売上高につきましては、当社の基本戦略として注力する業界特化型事業において、美容医療・学び領域の事業者向けDXサービスを中心とするストック収益（月額利用料等の継続的な収益）は順調に拡大したものの、Web広告単価の下落が想定を上回って推移したことに加え、一部美容系商材において価格競争が激化したことにより、成果や取引に応じて発生するフロー収益が前回予想を下回る見通しとなりました。また、ソリューション事業において、新規案件の稼働・検収時期が後ろ倒しとなったことも影響し

ております。

さらに、当社およびメディアパートナーにおけるPHP脆弱性への対応や、不正アクセスリスクを踏まえたセキュリティ総点検およびシステム移行等に伴い、第４四半期において売上高の減少および費用の発生を見込んでおります。なお、現時点でリスクの高い事項に関する対応は完了しております。

これらの結果、売上高は前回予想を下回る見込みとなり、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回予想を下回る見込みとなりました。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

３．配当予想について

2026年12月期の配当予想につきましては、2026年2月10日に公表いたしました配当予想から変更せず、1株当たり年間210円を予定しております。この結果、2026年12月期の配当性向（連結）は100.1%となる見込みです。配当予想を据え置く理由は、以下のとおりです。

（1）基本戦略の進展

当社が基本戦略として注力するストック事業は着実に拡大しており、2026年12月期第3四半期累計期間における業界特化型事業のストック売上高は前年同期比68.2%増となりました。当期の減益は、広告単価の下落等によるフロー収益の想定を上回る減少が主因であり、収益基盤の強化に向けた取り組みは着実に進展しております。また、当社は安定した財務基盤を有しており、ストック事業をはじめとする成長投資を継続しながら、配当予想を維持できるものと判断しております。

（2）期初予想の堅持

期初に公表した配当予想を株主の皆様へのコミットメントと位置づけ、期中での変更は行わないこととといたしました。

なお、2027年12月期以降の配当につきましても、配当方針（配当性向65%以上またはDOE5%のいずれか高い金額を基準）に基づき、安定的な配当の継続を基本方針として決定してまいります。

以上